

平成28年度 狭山市立狭山台小学校 学校関係者評価報告書

【評価の目安】 A：よくできている(90%) B：概ねできている(75%)
C：あまりできていない(60%) D：できていない(60%未満)

目標領域	番号	項 目	教職員	保護者	児童	改善策(説明)	学校関係者評価委員から(評価)
かしこい子	1	児童は、相手に届く声で話したり音読したりしている。	B	A	A	・授業において、届く声で話させることに重きを置いて指導してきた。文字を丁寧に書くことについては、ノートの書き方を学校として定めており、定着させてきている。	・めあての明示は、外部の人が参観する際にもわかりやすい。ぜひ、浸透させていきたい。 ・教室等に学習の足跡がわかる掲示物が多く、UDに取り組んでいる様子が見えがえた。
	2	児童は、文字を丁寧に書いている。(下敷き・消しゴムを上手に使う)	C	B	B	・学校研究に算数を中心に取り組み、単元を通じて一貫した指導でわかりやすい授業を工夫してきた。授業改善は進んでいるが、児童が自分の言葉でまとめられるよう引き続き指導していく必要がある。	
	3	児童は、進んで家庭での学習に取り組んでいる。(塾等での学習を含めて〔10×学年〕分)	B	B	B		
	4	学校(教員)は、わかりやすい授業に努めている。(めあての明示、児童が自分の言葉でまとめる授業の展開)	B	A	A		
	5	学校は、学習内容が子供に身に付くように努めている。	B	A	A		
やさしい子	6	児童は、自分から目を見て挨拶している。	B	B	A	・挨拶については、児童会活動と連携し主体的に取り組めるように計画的に指導してきた。(全学級が取り組む挨拶運動、児童会の挨拶運動、中学生との挨拶運動、挨拶標語等)	・いじめの問題には、言葉づかいの指導が大切だと思う。言葉づかいの指導に力を入れていることは、よい取り組みである。続けてほしい。 ・QUTテストは、児童の実態を客観的にとらえ指導に活かせることなので、引き続き児童理解と指導に役立ててほしい。 ・あいさつは、個人差が大きい。引き続き工夫して指導する必要がある。 ・人権については、大人も学ぶ必要がある。
	7	児童は、相手を思いやるやさしい言葉づかいをしている。	B	B	B		
	8	児童は、集団のために活動している。(係活動、当番活動、清掃など)	B	A	A	・言葉づかいの指導と合わせて人権教育を進めた。いじめ等の防止のために年3回のアンケート調査、年2回のQUTテストを分析し活用した。	
	9	児童が学校は楽しいと思えている。	/	A	A	・道徳授業の充実、学級活動の活性化を図り、自己有用感を高める取り組みを進めた。	
	10	児童にいじめを許さない心を育てるとともにいじめの早期発見・早期対応に努める。	A	/	/	・規律ある態度について適宜指導するとともに年2回児童に自己評価をさせ意識化を図った。(全学年全項目、県目標80%以上を達成)	
	11	内面を高めていく道徳授業の展開。道徳的実践力を高める指導。	B	/	/		
たくましい子	12	学校は、児童が安心して過ごせる環境を作っている。	B	A	A		・交通事故防止には、引き続き重点的に取り組む必要がある。特に自転車の乗り方に課題が見られる。 ・交通安全のため2年生以上にも黄色帽子を着用させたい。
	13	児童は、何事にもあきらめずに最後まで取り組んでいる。	B	B	A	・「まじめな行動」を重点として清掃にも取り組ませている。教員の見届けと評価で児童も意欲的に取り組んでいる。	
	14	児童は、進んで運動に取り組んでいる。	B	B	A	・運動のカード等により意欲化を図るとともに校庭整備、運動の場づくりを進め、体力向上を図っている。体力テストの結果では、県目標値を上回っている。	
	15	児童は、早寝・早起きをし朝ごはんを食べて登校している。	B	A	A	・安全確保のため、転落防止窓ストッパー設置、段差解消等諸工事を進めた。交通安全に関しては、引き続きしっかり指導していきたい。	
	16	児童は、交通ルールを守り、安全な歩行・自転車乗車をしている。	B	B	A		
	17	学校は、体力を向上させるための指導や環境づくりに取り組んでいる。	B	A	A		
公開・連携	18	学校は、児童の安全確保に努めている。(安全指導、清掃、修繕等)	A	A	A		・設問番号20「相談しやすい環境」や9「学校が楽しい」で高い評価を得ていることは、素晴らしい。この結果をキープしてほしい。 ・先日の「夢プロジェクト」の発表は素晴らしい。
	19	学校は、学校公開、授業参観・懇談会、学校だよりや学年だよりなどで学校や教育活動の様子がわかるようにしている。	A	A	A	・学校だより、学年便り、各種通知文書等により、教育活動を伝えるとともに理解・協力を求め、教育活動の充実を努めた。	
	20	学校は、保護者が教員に相談しやすい環境をつくっている。	B	A	A	・家庭訪問、個人面談、さらに適宜、面談、電話連絡等を行い連携を深めた。	
	21	学校は、保護者や地域との連携に努めている。	B	A	A	・親子活動、地域との連携行事を進めた。	
教職員	22	学校は、学年・行事等の会計を適切に処理し報告している。	A	A	/	・会計は毎学期、管理職とPTA役員でチェックしている。	・先生方が子供に向けるべき力を保護者対応に割かざるをえず、大変さがうかがえる。 ・負担感が軽減される良好な人間関係づくりに引き続き努めていただきたい。
	23	全教職員で学校経営方針に基づき組織的に教育活動を進めている。	A	/	/	・全教職員で共通理解を図り、組織としてまとまった教育活動ができた。	
	24	教職員が組織の一員として自分のよさを発揮して勤務している。	B	/	/	・学校研究に意欲的に取り組み成果が上がっている。	
	25	教職員が積極的に研修に取り組むとともに、自己研鑽に努めている。	B	/	/	・教職員の負担軽減が課題である。	